

〈解答〉

1	A	イ	2	C	エ	3	D	オ	4	A	ア	5	A	ウ	6	B	イ
7	E	カ	8	A	イ	9	C	カ	10	C	ア	11	A	ア			
①	1	連用形	2	連体形	3	假定形	4	未然形	5	終止形							
②	1	連用形	2	未然形	3	假定形	4	終止形	5	連体形							
③	1	形容詞・連体形	2	形容動詞・連体形	3	形容動詞・連用形											
④	1	形容詞・連用形	2	動詞・連体形	3	形容詞・連体形											
	4	動詞・連用形	5	動詞・連体形	6	形容詞・連体形											
	7	動詞・連用形															

配点 各1点 28点満点

〈解説〉

① 動詞の活用の種類は、言い切りの形Ⅱ終止形で考える。そして「来る」がカ行変格活用、「(〜)する」がサ行変格活用と覚えておく。それ以外は、「ない」を接続させた形Ⅱ未然形が、ア段となれば五段活用、イ段となれば上一段活用、エ段となれば下一段活用となる。8の終止形は「決まる」で自動詞、9の終止形は「決める」で他動詞である。10の終止形は「行ける」で可能動詞、11の終止形は「行く」で自動詞である。

② 活用形はそれぞれに接続する、おもなことを覚えておくとよい。ただし、終止形と連体形は活用語尾がまったく同じなので注意する。形容動詞は終止形(例 静かだ)と連体形(例 静かな)が違うので、それぞれを当てはめて判別するとよい(5)。

③ 形容詞と形容動詞は活用の種類が一つなので、活用語尾を覚えておくとよい。形容詞は「かる／かつ・く・う／い／い／けれ」、形容動詞は「だろ／だっ・で・に／だ／な／なら」である。いずれも命令形はない。

④ 用言の識別は、終止形が「ウ段」で終われば動詞、「い」ならば形容詞、「だ」ならば形容動詞となる。ただし、意味が似ていても品詞名は違うことがあるので注意する。1の終止形は「柔らかい」、2の終止形は「柔らかだ」であり、3の終止形は「暖かだ」、4の終止形は「暖かい」である。

文法 (3)

1 用言の活用

1 活用形 形容詞・形容動詞には命令形はない

- ① 未然形 ② 連用形 ③ 終止形 ④ 連体形 ⑤ 假定形 ⑥ 命令形

2 動詞の活用

活用の種類	動詞	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	假定形	命令形
五段活用	読む	よ	まも	みん	む	む	め	め
上一段活用	起きる	お	きも	きん	きる	きる	きれ	きろ
下一段活用	答える	こた	え	え	える	える	えれ	えろ
カ行変格活用	来る	○	こ	き	くる	くる	くれ	こい
サ行変格活用	する	○	せし	し	する	する	すれ	しろ
接続することば			ナイ ウ ヨウ	マス タ テ	。カ ラ	トキ デ	バ	。よ

※サ行以外の五段活用の動詞の連用形には音便がある。

イ音便：咲き＋た ↓ 咲<sup>イ</sup>＋た 撥音便：飛び＋た ↓ 飛<sup>フ</sup>＋た 促音便：行き＋た ↓ 行<sup>ク</sup>＋た

3 形容詞の活用

形容詞	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	假定形	命令形
早い	はや	かろ	かつ	い	い	けれ	○
			うく				

4 形容動詞の活用

形容動詞	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	假定形	命令形
静かだ	しずか	だろ	だつ	だ	な	なら	○
			にで				